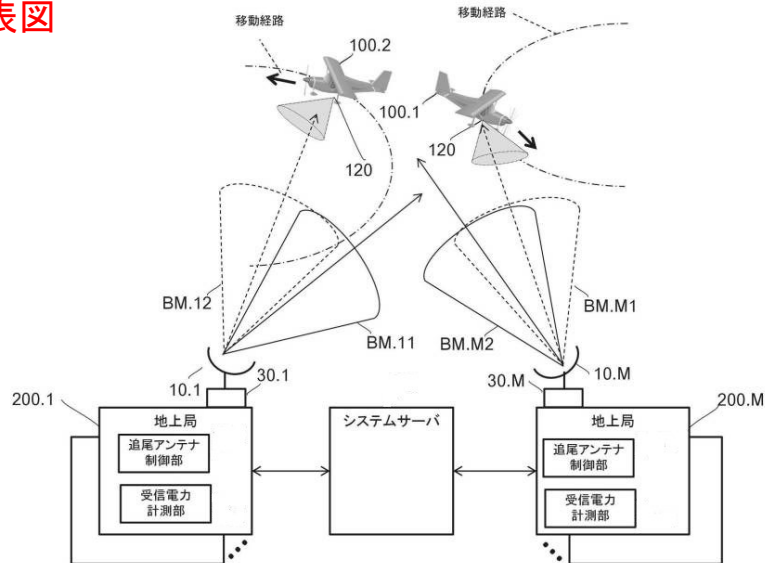


発明の名称	追尾アンテナシステムおよび追尾アンテナ装置		
出願人/権利人	株式会社国際電気通信基礎技術研究所	発明者	矢野 一人、北沢 祥一、熊谷 智明
出願日	平成28年3月29日	出願番号	2016-65291
公開番号	2017-183875	特許番号	-
法的状態	出願中		

## 代表図



10. 1～10. M 指向性アンテナ、30. 1～30. M 駆動部  
 100. 1, 100. 2 無人航空機、120 アンテナ、  
 200. 1～200. M 地上局  
 BM. 11～BM. M1 指向性のメインローブの範囲  
 BM. 12～BM. M2 サイドローブの範囲

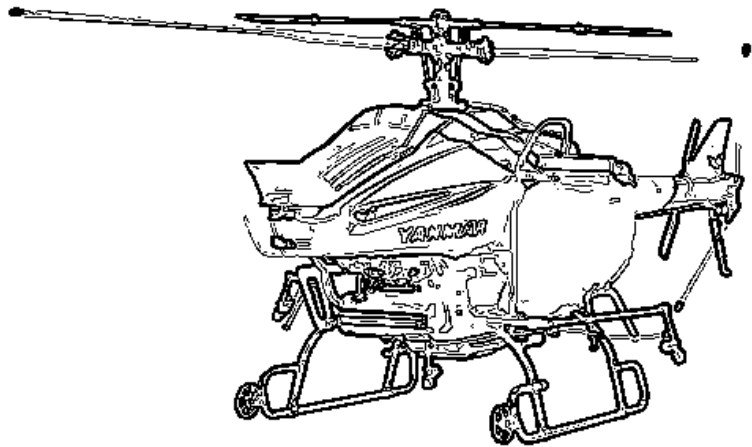
## 発明の概要

効率的かつ安定なハンドオーバー(基地局を移動中に切り替えること)を実行することが可能な追尾アンテナシステム

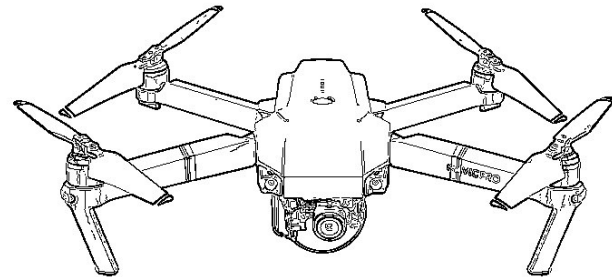
## 特徴

本発明では、複数の飛翔体が自身の位置、速度把握のための測位手段と、無線信号を送受信可能な機体アンテナとを有している。また、複数の飛翔体との間で無線通信を行うための複数の地上局も備えている。複数の地上局の各々は、追尾制御指示に応じて、複数の飛翔体のうちの対応する飛翔体の方向に追尾アンテナの通信指向性を駆動する指向性制御手段を備えている。このような構成により、複数の地上局による複数の飛翔体に対する追尾において、効率的かつ安定なハンドオーバーを実行することが可能である。

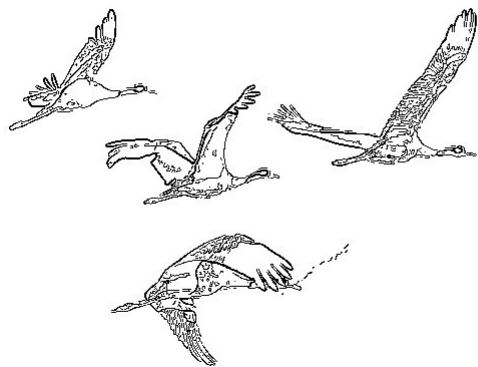
# 応用の可能性



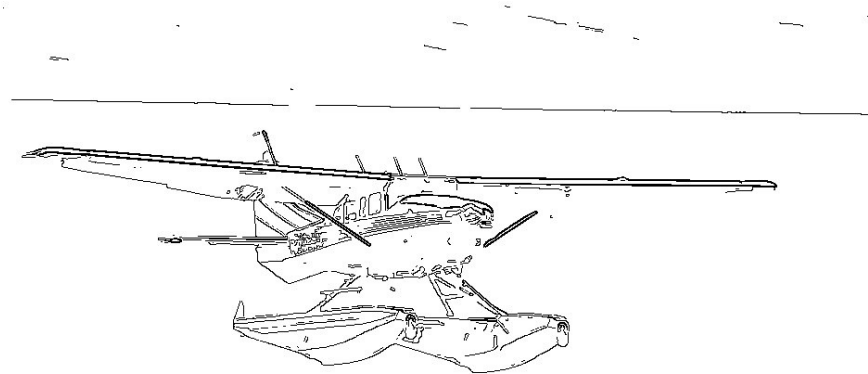
無人ヘリコプター



ドローン



渡り鳥(鳥類標識調査)



小型飛行機

## 応用の可能性

- ・無人ヘリコプター
  - ・ドローン
  - ・渡り鳥(鳥類標識調査)
  - ・小型飛行機
- など

## 本技術の活用が見込める企業の一例

- |                  |                    |
|------------------|--------------------|
| ・ヤンマー株式会社        | ・テラドローン株式会社        |
| ・ヤマハ発動機株式会社      | ・日本鳥類標識協会          |
| ・ヒロボー株式会社        | ・株式会社せとうちSEAPLANES |
| ・エアロセンス株式会社      | ・日本飛行機株式会社         |
| ・NECフィールディング株式会社 | など                 |

## 株式会社国際電気通信基礎技術研究所の本発明に関する最新動向

- ・ホームページにおいて情報掲載は見られず、目立った動きは見受けられない。